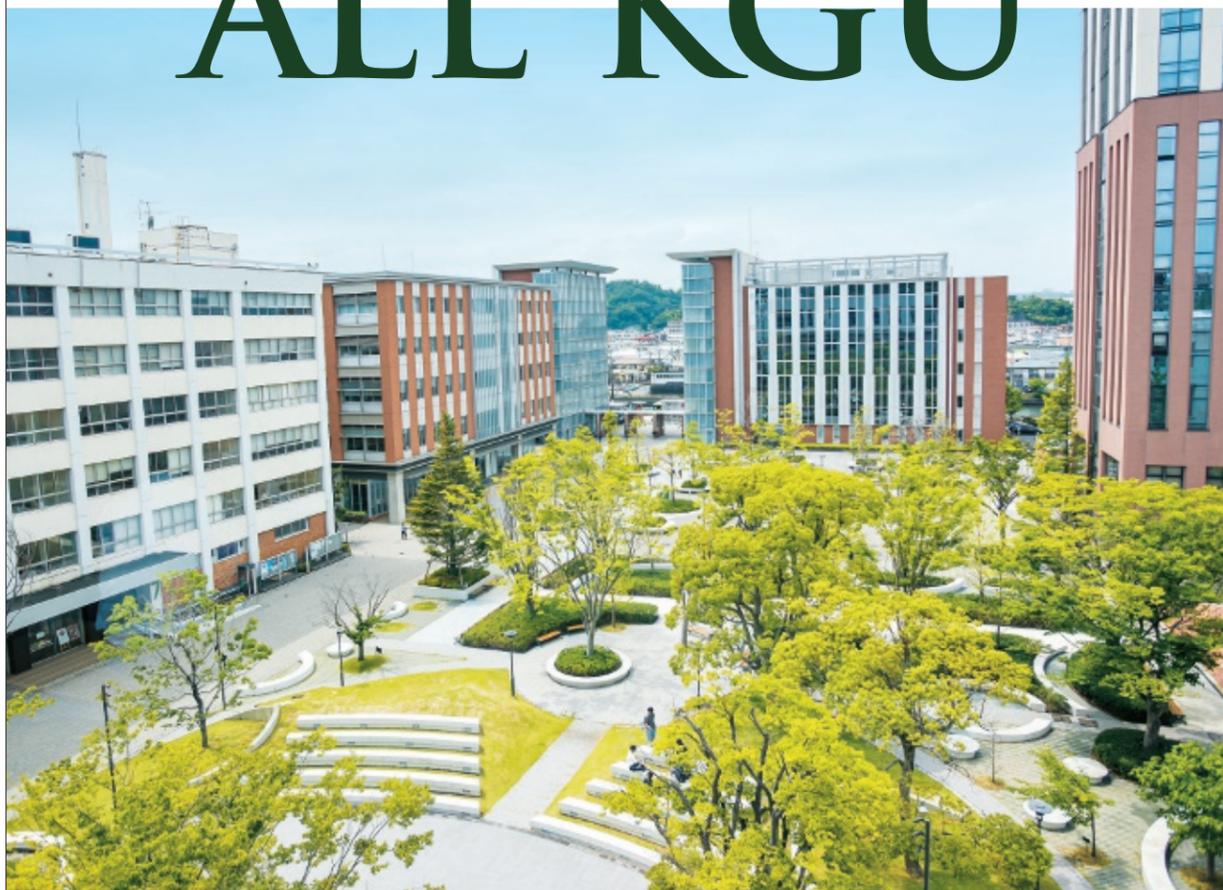


スポーツもカルチャーも、みんなでつくる。

# ALL KGU



## 人になれ 奉仕せよ

関東学院大学の校訓「人になれ 奉仕せよ」。

これは、関東学院の初代院長 坂田祐が第1期生の入学式で述べた言葉です。

キリスト教の精神に基づき、生涯をかけて教養を培う人間形成に努め、人のため、社会のため、人類のために尽くすことを通して己の人格を磨く、というこの関東学院の教育方針は、長年にわたって継承されてきました。さらに、坂田は後年、この校訓に「その土台はイエス・キリスト也」という言葉を書き添えています。

関東学院大学は、国際化が進展し否応なく共生が標榜される

現代の社会において、研究・教育機関としての真理探究に加え、

キリスト教の精神に基づき、多様性と多元性を寛容と協調の心によって

包み込み一致を志す人材の育成を

今後も継続し、なお一層の進展をはかります。

## HISTORY

- 1884 横浜山手に横浜バプテスト神学校創立  
初代校長はA.A.ベンネット
- 1919 横浜市南区三春台に私立中学関東学院設立  
初代院長は坂田祐
- 1949 金沢八景キャンパスに関東学院大学設置  
経済学部設置、工学部設置
- 1968 文学部設置
- 1986 金沢文庫キャンパス開校
- 1991 小田原キャンパス開校  
法学部設置
- 2002 女子短期大学を改組し、人間環境学部設置
- 2009 学院創立125周年
- 2013 大学に理工学部、建築・環境学部、看護学部設置
- 2015 大学に国際文化学部、社会学部、栄養学部、教育学部設置
- 2016 大学に人間共生学部設置
- 2017 大学に経営学部設置
- 2023 関内キャンパス開校

ご協力ありがとうございました

この冊子を作成するにあたり、撮影取材させていただいたクラブ・サークルの学生の皆様、ご協力ありがとうございました。また、校内でのスナップ撮影に快く応じてくださった学生の皆様、寒空の下ご協力いただきありがとうございました。

出場大会・開催日時等、詳しい情報はWEBサイトをご覧ください

<https://univ.kanto-gakuin.ac.jp/> 関東学院大学

検索

CAMPUS TOPICS Vol.67  
キャンパストピックスVol.67 2022総集号 2023年3月24日(金)発行

未来へGOALを決める

関東学院大学キャンパストピックス 2022 総集号

# CAMPUS TOPICS

Vol.67



©1992 Y.MARINOS



## 未来へGOALを決める



\\ Pick up //

運動部特集

KGU FIGHTERS～未来にかける思い～

特別企画

大学から始める部活動 / 関内キャンパス特集 / わたしたちの平湯祭

発行/関東学院大学 学生生活課  
〒236-8501 横浜市金沢区六浦東1-50-1 発行人: 施 桂来  
取材・編集・デザイン/東洋フリアテック株式会社



関東学院大学キャンパストピックス 2022 総集号

# CAMPUS TOPICS

Vol.67

## 未来へGOALを決める

2022年度は関東学院大学にとって、そして学生の皆さんにとって、どんな1年だったでしょうか。スポーツや文化芸術の分野で活躍したクラブ・サークルを中心に1年を総まとめ！キャンパス内での突撃スナップ取材では、学生の本音も聞き出しちゃいます。

### CONTENTS

- 03 【運動部特集】KGU FIGHTERS～未来にかける想い～
- 12 【特別企画】大学から始める部活動
- 16 関内キャンパス特集
- 20 わたしたちの平潟祭
- 22 KANTO GAKUIN REAL SNAP 2022
- 24 チャレンジ奨学生

- 26 学長賞&功労賞発表！
- 28 地域貢献
- 30 文化芸術
- 31 安否確認システム・学生生活課公式LINE・迷惑行為・SNS・危険ドラッグ・マルチ商法・飲酒・防災

### 活気あふれるキャンパスライフを作り上げていきましょう！ 学生生活部長 施 桂栄

今年度も、学生たちは様々なフィールドで大いに活躍し、大学を盛り上げてくれました。

サッカー部からは昨年度すでにJ1横浜F・マリノスに加入が決定している村上悠緋選手に続き、J1サガン鳥栖に河波櫻士選手、J2ザスパクサツ群馬に岩元ルナ選手、J3松本山雅FCに藤本裕也選手、J3 Y.S.C.C.横浜に坂本順平選手など、多くの学生がプロチーム加入を果たした1年でした。クラブとしても6年ぶりに全国大会出場を決め、前年を大きく上回る結果を残しました。

他のクラブでは剣道部とチアダンス部Fitsが全国大会に出場、陸上競技部からは内野李慧選手が箱根駅伝大会の学連選抜に選出され、3区を出走し沿道に並んだ方々からたくさんの声援を浴びていました。前述したサッカー部だけでなく、ハンドボール部から永野大樹選手のプロ入りが決まるなど、卒業後の活躍に目が離せない学生ばかりです。

そして、昨年に続き私が応援に行ったウインドサーフィン部の2022年度全日本学生ボードセーリング選手権大会では、天候に恵まれた海上で迫力あるレースに圧倒されながらも出場選手を応援しました。本大会では神尾瑠夏選手がレディース7位入賞という好成績を収めました。

神尾選手はTECHNO293クラス全日本選手権女子の部でも準優勝を果たすなど、年間を通じて目覚ましい活躍をされました。

文化系クラブや公認サークルからは美術部が近隣地域からの依頼で、施設の壁をキャンパスに巨大な壁画の制作を手掛けたり、横浜市からの依頼で写真部と天文部すばるが関内駅にある大通り公園でワークショップを開いて地域の方々と交流をしたりと、地域からの期待と信頼を寄せて頂いていることを実感しました。また将棋サークルは

日々の積み重ねが実を結び、代表の永田麟太郎さんが関東大学将棋連盟秋季個人戦で4位に入賞し、全日本学生将棋十傑戦に出場するなど様々な学生が多岐で活躍し、コロナ禍でも最大限活動し結果を残した1年となりました。

更に、今年度の平潟祭は3年ぶりに外部からの来場を認め、コロナ禍以前のような盛り上がりを見せてくれました。感染対策は引き続き厳しく設定しつつ、たくさんの来場者に安全に楽しんでいただくため、平潟祭実行委員会をはじめ学生たちは長い時間をかけて準備を行ってくれました。そのおかげもあり当日は大盛況となり、大きなトラブルなく開催することができました。

また、本誌に掲載はありませんが、平潟祭以外にも学生支援室で毎月の学内イベントを企画する「ワクワク計画」という取り組みを実施しています。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、生活様式が変わってしまってからあつという間に3年間が過ぎましたが、ようやく国内でも制限が緩和されます。

2023年度はいよいよ関内キャンパスも開校し、関内の街全体をキャンパスとした新たな学修生活を展開していくことになります。関内以外にも各地に根差した複数のキャンパスには、学生にとって大きな可能性が秘められています。これからも学生が思い切り活躍できるフィールドを幅広く提供していくために、私たちは努めます。

皆さんと私たちが活気あふれるキャンパスライフを作り上げていきましょう！

#FOOTBALL P.04



#FOOTBALL P.05



#FOOTBALL P.06



#FOOTBALL P.07



#FOOTBALL P.08



## KGU FIGHTERS

### ～未来にかける想い～

コロナ禍という時代と戦い、未来に向けて歩んでいる学生は多くいます。学生の将来どうなりたいか、何を目指して今を頑張るのか、「未来へGOAL」と題して未来の目標をお聞きしました。未来に向けた熱い想いを胸に抱く、FIGHTERをご紹介します。

#FOOTBALL P.08



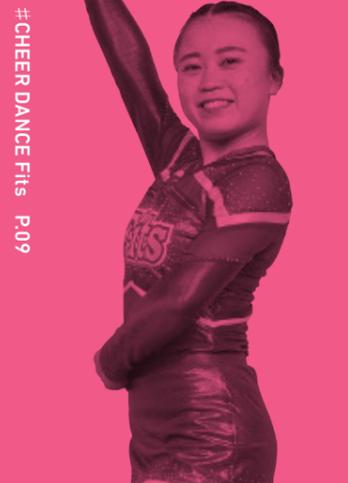
#FOOTBALL P.08



#KENDO P.09



#CHEER DANCE Fits P.09



#TRACK AND FIELD P.10



#HANDBALL P.10



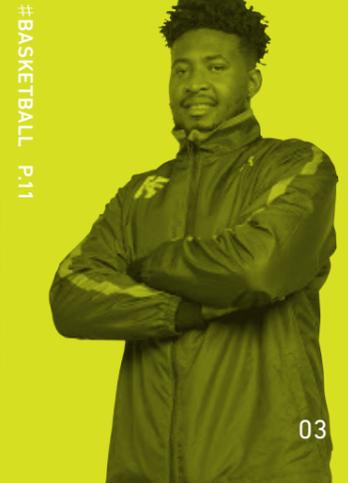
#WINDSURFING P.10



#RUGBY P.11



#BASKETBALL P.11



# 目指すは得点王と日本代表の座



横浜F・マリノスの特別指定選手として登録されている村上選手。彼は在学中からプロのサッカープレイヤーとしてハイレベルなステージで研鑽を続けている。関東学院大学のサッカーのレベルも高いが、「大学とプロとはスピードや技術、一人ひとりの能力などすべてにおいてレベルが違う」と、改めてプロとの差を実感しつつも、同じポジションの選手のプレースタイルやハードワークをする姿が刺激になっているという。

今年8月に行われたJリーグYBCルヴァンカップ準々決勝第2戦では後半46分から交代出場、レオ・セラとのソートップで念願の公式戦デビューを果たした。ホームの三ツ沢球技場には感染症対策のため声援ではなく手拍子の応援が響く。「応援があることで、

会場みんなで戦っているんだと感じた」と会場を包み込むサポーターの温かい応援への感謝を改めて村上選手は語る。試合は惜しくも1-2でサンフレッチェ広島に敗れ、チームは準決勝進出を逃した。

「プロのピッチに立つことは子どもの頃からの夢だったので嬉しかったが、チームに貢献できなかったことが悔しい」とほろ苦いデビュー戦を村上選手は振り返る。だがそこで立ち止まることはしない。「スタメンになって、チームに貢献できるよう、また、タイトルを少しでも多く獲得できるよう練習を重ねていきたい」と、既に次の目標に向かって走り出している。

## 未来へGOAL

### 日の丸を背負ってワールドカップへ



まずはJリーグで得点王になること。そして海外でも通用する選手になれるよう、海外チームに所属して経験を積み、最終目標は日本代表としてワールドカップに出場したいです。ワールドカップでも得点王になりたいなと思います。



©1992 Y.MARINOS

#### Q.嬉しかったことは？

全国大会に出場できたことです。この4年間ずっと全国大会に行こうとみんなで頑張ってきたので、出場できたことが何より良かったです。

#### Q.横浜F・マリノスの雰囲気は？

練習や試合などは緊張感のあるチームですが、緊張がほぐれるとみんな優しく、僕にも気さくに話しかけてくれます。ご飯をみんなで食べて、くだらない冗談を言い合うことも(笑)。

#### Q.2023年の目標は？

正式加入の年となるので、1日1日を無駄にせず、練習から何まで全力で取り組むこと。また、毎日のシュート練習は欠かさず、練習を結果につなげていきたいです。

# サッカーができることが最高の喜び



大学でサッカーをするならプロになりたいと入学当初より思い描いていた夢が開いたのは2022年9月。サガン鳥栖の練習試合に参加して、大学サッカーでは味わえないような緊張感や1つ1つの質の高さを改めて感じた。「このチームでプレーできたらと思うとワクワクした」と河波選手は高ぶる気持ちを抑えられなかった。そして、サガン鳥栖から内定の連絡を受け、夢は現実のものとなった。

体格がほかの選手に比べて華奢だった入学当初は、「これではプロになれない」と思い毎日筋トレに励む日々を送った。先輩と一緒に筋トレをして、優しく教えてくれたことは今でも感謝していると話す。また、2022年は食事や睡眠に気を使った1年だった。「ほぼ

毎日決めたメニューを食べて、基本21時には就寝するようにした」と河波選手は振り返った。このストイックな生活を可能にしたのは周囲にプロを目指す仲間たちがいたからだという。

今年の春からサガン鳥栖に正式加入し、プロへの第一歩を踏み出す河波選手。「ファンサポーターから愛されて、チームメイトからも親しみを感じてもらえる選手になりたい。プレーとしては自分の特徴であるスピードを最大限に発揮して、チームになくなくてはならない存在になりたい。そしてチームの勝利に貢献したい」と熱い想いを語った。ゴールを決めることはもちろん気持ちのいいことだが、アシストして仲間とつないだゴールは別物だと最後に付け加えた。

## 未来へGOAL

### サガン鳥栖のために戦いたい！



将来的にこうなりたいかは特にないんです。今はサガン鳥栖のために戦ってチームに貢献できる選手になりたいですね。1歩ずつ上を目指していけたらなと思います。



©S.D.CO.,LTD.

#### Q.サッカーを楽しんでいる瞬間は？

サッカーをしていること自体が楽しいです。サッカーを続けられているのは当たり前じゃないので、試合や練習含めてサッカーができるだけで幸せですね。

#### Q.サガン鳥栖の雰囲気は？

練習試合が終わった後にアドバイスをくれたりと本当にいい人ばかりです。この人たちとともに試合で勝ちたいと思いましたね。

#### Q.毎日の食事のメニューを教えてください。

鶏むね肉がメインでサラダ・豆腐・アボカドを食べていました。あとフルーツやヨーグルトも。このバランスが崩れると調子が違うなと感じることもありました。

# 関東学院大学での出会いがプロの道へ



小さい頃からの夢だったプロサッカー選手を目指し、大学4年間サッカーに取り組んだ岩元選手。ザスパクサツ群馬の練習合宿に参加したことがきっかけで、ついにその夢を掴み取った。

「2日間の練習合宿の中で自分の力を発揮できたし、このチームでならもっと成長できる」と手ごたえを感じていた。誰よりもスプリント※をこなせるタフさとスピード、守備の技術が評価されたのだ。この岩元選手の強みと、その土台となる基礎能力を伸ばしてくれたのが在学中に関わった二人の監督だ。前任者である石村監督にアスリートとしての基礎を、2022年度より新たに就任された奈良監督には築き上げた土台に乗る個としての武器を受けられ、4年間でプロに通用するレベルまで成長させた。「お二人に出会ってなかったら、

ここまで自分の良さは伸びなかったかもしれない。自分のサッカーを伸ばしてくれたことに感謝しています」と岩元選手は両監督への感謝の思いを語った。

ザスパクサツ群馬での本格始動は2023年シーズンから。「1点でも多くゴールを決めて、チームを勝たせられる選手になりたい」と意気込む。もちろん、J1昇格や日本代表も視野に入れ、常に高みを目指す。

大学4年間を振り返った岩元選手は「高校時代に自分より上手い選手がいても、大学で真面目にコツコツサッカーと向き合っていれば追い抜くことができる。試合に出られなくても、Bチームでも、プロになれるチャンスはある」と後輩にエールを送った。

※一定以上(時速24km程度)の速度で数秒以上走ること。  
50mを7.5秒で走るペースに相当する。

## 未来へGOAL

### ワールドカップ出場!世界で活躍できる選手に



まずはザスパクサツ群馬で活躍することが目標です。その後、小さい頃から目指していた海外チームに所属し主要リーグでプレーして、最終的には日本代表としてワールドカップに出場したいですね。簡単ではないと思いますが、チャンスはあると思いますので全力で注力していきます。



©THESPA

#### Q.ザスパクサツ群馬での練習試合はどうでしたか?

プロの選手はサッカーを仕事としているので、学生の僕とは緊張感が全く違いました。そういう雰囲気にもまれながらプレーしたいという思いがあったので、とても楽しかったです。このチームでもっと強くなりましたと思いました。

#### Q.内定が決まった時の気持ちは?

プロになれるという自信はあったのですが、内定の連絡をいただいた時は嬉しかったですね。長年、目標にしていたことが叶った瞬間だったので、その時の気持ちは一生忘れたいと思います。早く試合に出て活躍したいとワクワクしています。

#### Q.岩元選手にとってサッカーの魅力は何ですか?

9割以上のことが上手いかわかりませんが、それでもサッカーってやめられないんですよ。今回のプロの選手になれることや試合に勝つこと、ゴールを決めるとかそういう成功体験が力になって、上手いかわからなくても「また頑張ろう」と思える、僕にとってはなくてはならないものですね。

# 周囲の人の支えがあって今の自分がある



プロのサッカー選手を目指すうえで長期・中期・短期と3段階の目標を掲げていた坂本選手。長期目標は幼少期からの夢でもあるプロのサッカー選手になること。そのために中期では関東リーグ1部昇格、短期では1試合1得点を目標としていた。関東リーグ1部昇格はできず、納得のいく結果とはならなかったが、Y.S.C.C.横浜への加入が決まり、プロのサッカー選手になるという目標を達成することができた。

夢を掴むきっかけとなったのは地元横浜のクラブY.S.C.C.横浜の練習に初めて参加させてもらったときだ。「プロのチームだけど、ついていける自信がある。このチームでもっとプレーしたい」とプロの世界でも活躍できると確信を得た。12月中旬に内定の連絡が監

督よりきて、その時はそれまでに経験した苦労や困難な思いも吹き飛ばすほど安心したという。「嬉しい反面、ほっとした。物心ついた時からサッカーを始めて、ずっとサッカー選手になりたいと思っていたので、やっと叶った」と安堵した。また、「プロになることはできたが、それは自分ひとりの力ではない。奈良監督のサポートや支えてくれた人のおかげで今の自分がある」と謙虚な姿勢を見せた。

今シーズンよりプロとしての活動が始まる坂本選手。「Y.S.C.C.横浜としての目標はJ2昇格を目指す。個人としては開幕戦に出場できるように頑張りたい。10点を目標にしてチームに貢献したい」と意気込みを語った。

## 未来へGOAL

### 誰もが楽しんでもらえるプレイヤー



「この選手なら何かしてくれそう」と期待され、自分も含め周囲の人が楽しめるプレイヤーになりたいですね。それはプロの世界だけではなく、どんな場所でもどんなチームでも同じです。



©Y.S.C.C.

#### Q.どんな選手になりたいですか?

僕はごく普通の町のサッカーチーム出身で才能があったわけでもないけどプロになれました。頑張って続けていたらプロになれると、子どもたちの希望になれたらいいな。

#### Q.ご両親の反応は?

内定の連絡をもらったその日の夜に連絡をしました。「ここからがスタートラインだね」と喜んでくれました。僕も同じことを考えていたので、ここから頑張ろうと気持ちを切り替えました。

#### Q.いつからプロを目指そうになりましたか?

5歳からサッカーを始めて、小学生のころにはもうプロのサッカー選手になりたいと周りの人に言っていましたね。中学校を卒業する時にみんなに言っていましたね(笑)。

サッカー部  
松本山雅FC 加入選手

人間共生学部 共生デザイン学科 4年  
藤本 裕也 さん



## 信頼できる仲間と 切磋琢磨し高め合う

横須賀市出身で、中学・高校時代は横浜FCの育成組織に所属していた藤本選手。ジュニアユース、ユースと昇格、関東学院大学へと進学した。関東学院大学と他大学での一番の違いは横浜F・マリノスと連携しているため、J1優勝チームの練習に参加でき、様々な経験が積めることだ。「場所はいいところにあり誘惑もたくさんあるけど、仲間たちの意識が高いからサッカーに集中ができる。また、監督、コーチとの距離が近いからこそ信頼関係が築け、安心してサッカーができた。さらに、後輩先輩関係なく頼り合えるチームだから、切磋琢磨し合い成長ができた」と感謝した。

2022年の冬、J3リーグの松本山雅FCに加入することが決まった。「オファーをいただいた時は今までに感じたことのない、ふわふわした感覚だった。まず、初めに親に報告をして、その後にお世話になった方々に報告した。報告が一通り終わり、少しだけプロになることが実感できた」とプロサッカー選手になれた喜びを語った。

すでに松本山雅FCでの活動が始まっている。「このチームからオファーをもらえてよかった。自分の可能性を信じてくれた松本山雅FCには感謝している」と改めてプロサッカー選手になれたことをかみしめた。そして「まずは試合に出ることを目標にしている。ゆくゆくは自分のプレーを見に行きたいと思ってもらえる選手を目指したい」と語った。

未来へGOAL

どんな形でもサッカーに関わっていきたい

将来はプロサッカー選手に限らず、マネージャーやサッカー場の芝生管理など、どんな形でもサッカーに関わっていきたいです。これまで、サッカーに人生を費やしてきたので、少しでも自分の経験や知識が誰かの役に立てればと思います。



©松本山雅FC

剣道部

国際文化学部 比較文化学科 3年  
工藤 良太 さん



## 目の前の試合、 一つ一つに 全力で向き合う

2022年度は昨年、あと一歩のところまで全国大会出場を逃した無念を晴らす1年となった。目標はもちろん全日本学生剣道大会(全国大会)への出場だ。目の前の試合や練習1つ1つに全力に取り組もうと誓った。まずは週6の練習にトレーニングの日を加えた。高校時代は体育コースを選択し、トレーニングの知識や身体の構造に長けている工藤主将。その知識を活かして、部員と話し合い「小柄な選手が多いから体幹をもっと鍛えよう」「基本的な足さばきを強化しよう」など個人個人が主体となり、自らの技を極め続ける日々を送った。迎えた関東学生(予選会)では個々のやるべきことを理解して、トレーニングの成果も遺憾なく発揮。ベスト16に入り、全国大会出場の切符を手にした。

約10年ぶりの全国出場で選手たちは緊張と不安でいっぱいだった。感染対策により、無観客の大会となったため、工藤主将は場を盛り上げるために多くの声援を送り、全員で力を合わせて戦った。結果は2回戦敗退となったが「まだまだ伸びしろがあるなと感じた」と工藤主将は話す。また「団体戦とはいえ、戦う時は1対1。それでも仲間のために戦うことで力がみなぎるし、仲間とともに勝ち取った勝利は格別だ」と団体戦の良さを改めて実感した。次年度は全国大会出場を当たり前として、他校を圧倒する強さを見せつけることを目標に進んでいる。

未来へGOAL

教員になって  
自分の経験したことを  
活かしたい

社会科の教員になって自分の経験したことを活かした授業をするのが夢です。また、バスケットボールや野球等の部活動でも剣道部で学んだことが活かせると思うので、剣道にこだわらずいろいろなスポーツに関わりたいと思います。



サッカー部

経営学部 経営学科 4年  
野末 学 さん

経営学部 経営学科 4年  
大友 千裕 さん



## 5年ぶりに 全国大会出場を 果たす

関東大学サッカーリーグ1部昇格、全国大会出場の2つの目標にチーム一丸となって挑んだ2022年シーズン。手が届きそうなところまで来ていた1部リーグ昇格は惜しくも逃したが、全国大会出場を果たした6年ぶりの快挙となった。野末キャプテンは「OBの方からも応援の言葉や差し入れをいただき、周りに支えられていると感じた。その応援をしてくれる人たちの気持ちに応えたいという想いが大きかった」と当時の意気込みを語った。

全国大会1回戦は後半から入った選手がゴールを決め、試合の流れを変えて3-2で勝ち上がった。2回戦は0-2と奮闘したが、あと一歩のところまで勝利を収めることができなかった。「全く歯が立たなかったわけではなかった。勝てると思う瞬間は何度もあったので、チームの成長を感じることができた」と野末キャプテンは振り返る。「一致団結して同じ目標に向かい、勝利を勝ち取ってほしい」と大友副キャプテンは来シーズンに希望を託した。

未来へGOAL

人を感動させる  
プロのサッカー選手

見た人が心を動かされるような影響力のあるサッカー選手。サッカーの技術面はもちろん、生き方やメンタル面などのサッカー以外のことで感動を与えられるようになりたいです。

経営学部 経営学科 4年  
野末 学 さん



ドリブルが得意な  
プロのサッカー選手

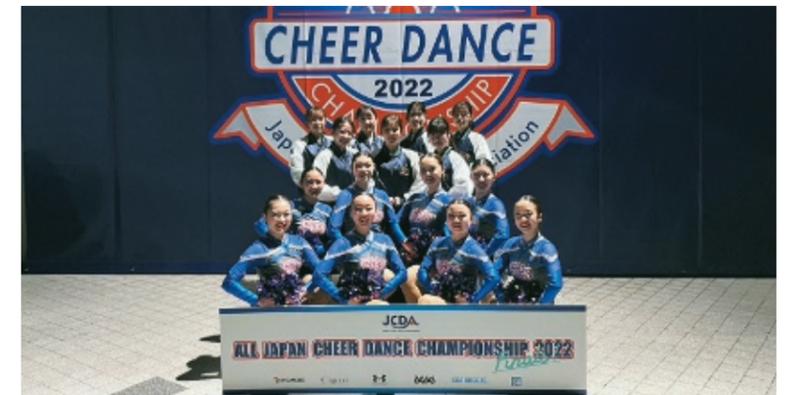
ドリブルが得意なので、見ている人がワクワクするようなプレーができる選手になりたいです。ドリブルの技術を磨き、驚くようなプレーをしてサッカーを楽しんでもらいたいです。

経営学部 経営学科 4年  
大友 千裕 さん



チアダンス部 Fits

栄養学部 管理栄養学科 3年  
小島 柚香 さん



## “気持ちで負けない” という強い想いが 会場を圧倒

2022年の目標は全国大会で入賞すること。その想いで迎えた関東予選大会では惜しくも6位となり、入賞圏内(5位以内)には入らなかったものの審査員特別賞を獲得し、全国大会への出場権を手にした。「入賞したいねとチームで話していたので、残念な結果になった。それでも簡単に取れる賞ではないので、チームの力がついてきているなと自信がついた」と小島主将は悔しさを滲ませた。実はFitsは3月の全国大会でも審査員特別賞を獲得している。「みんなが気持ちで負けない」という思いの強さが演技にあふれ、点数では表しきれないFitsの魅力となって会場を圧倒した結果だろう。

今年度で3年連続の出場となる全国大会は有観客で開催され、賑わいを見せた。予選より演技には自信があったが、9位という結果に終わった。「次の大会に向けて本気で挑もうとチームが1つになったように感じる。30期は全国大会で入賞するのでみんなついて!」と小島主将はチームに対しての想いを語った。また、2023年は全国入賞も目標だけど、活動を増やして部員も増やすことも目標に据えている。応援してほしい時はぜひチアダンス部に「負けない気持ち」をチャージしてもらおう。

未来へGOAL

栄養士になって  
子どもたちの食に  
関わりたい

将来の夢は学校の給食の栄養管理をする栄養士になって子どもたちの食に関わりたいです。そのために授業や実習も手を抜かず、部活も全力で取り組みたいです。何でもやれたがりの性格なんです(笑)。



## KGU FIGHTERS

### 陸上競技部

経済学部 経済学科 3年  
内野 李慧 さん



## 支えてくれる方へ恩返し of 思いで走る

常に頭の片隅で「箱根駅伝」のことを考えて生活してきた内野選手。誰にも負けないように高みを目指し、支えてくれる監督や仲間たちに恩返し of 気持ちで練習に打ち込んだ。そして迎えた箱根駅伝予選会、チームは25位で予選通過を果たすことは叶わず、今回も悔いの残る結果となったが、関東学連の一人に内野選手が選ばれた。関東学院大学の代表として箱根駅伝の特別ユニフォームを着用し、大学から近い第3区(戸塚〜平塚)を走りきった。「地元、長崎から両親や友達が応援しに来てくれて嬉しかった」と沿線の声援が励みになった。来年、内野選手には最後の箱根駅伝の挑戦となる。「今年走った経験を活かして、来年は必ずチームで出場したい」と闘志を燃やした。

### 未来へGOAL

#### 大学を卒業しても陸上を続けたい

陸上を満足するまでやり切りたいですね。プロになって、陸上を続けられる環境を作りたいと思います。



## KGU FIGHTERS

### ハンドボール部

教育学部 こども発達学科 4年  
永野 大樹 さん



## “両利き”でハンドボール界に名をとどろかせる

プロチームに入団することを目標としてきた4年間。プロの世界でも珍しい“両利き”が武器の永野選手。元々片利きだったが、中学生で身長が伸び悩んでいたことをきっかけに両利きのプレースタイルへ。今年、中学校の恩師からの連絡でセレクションに参加することになり、「実力を発揮できたので自信があった」と話す。セレクションから約1か月後の諦めかけていた時、プロの加入が決まったと連絡が入り、「憧れていたプロチームに入団できると連絡が来た時は嬉しかった」とプロ入りを喜んだ。実は全国大会など大きな大会には出場したことがない永野選手。「無名の選手が名をあげたら熱いだろうな。正式に加入したら、名前を覚えてもらってハンドボール界にとどろかせたい」と新たな野望を胸にプロの世界へ歩き出した。

### 未来へGOAL

#### 日本代表になって子ども達から目標とされる選手

プロになったらレギュラーや新人賞を獲得するのはもちろん、日本代表選手になることが目標です。また、両利きの選手は珍しいので、子どもたちに目標とされる選手になれたらいいと思います。



## KGU FIGHTERS

### ウインドサーフィン部

人間共生学部 コミュニケーション学科 4年  
神尾 瑠夏 さん



## 最後のインカレ出場、最高のリザルト

2022年の目標はとにかく楽しむこと。そして、各大会で入賞することだった。結果は全日本選手権で準優勝、インカレで7位と楽しみながらも結果を残すことができた。そのなかで一番思い出に残っているのはインカレだったという。インカレにエントリーできるのはインカレ関東支部予選成績の上位30名のみ。会場となった材木座海岸で1位から順に名前が呼ばれ、神尾選手は10位で呼ばれた。後輩とインカレに行きたいという強い思いと緊張が張り詰める中、29位に森選手、30位に工藤選手の名前が呼ばれた。「後輩の結果は自分のことよりも嬉しかった」と一緒にいけることを喜んだ。インカレの結果は7位だったが「楽しむという目標は達成できた。引退しても後輩が大好きなので、これからも海には通いたい」と後輩への想いを語った。

### 未来へGOAL

#### 誰かの心に影響を与える人になりたい

ウインドサーフィン部で憧れた先輩のように誰かの心に残る人になりたいと思います。先輩が私の人生を変えてくれたので、私もいつか誰かに影響を与えられるくらい素敵な人になりたいです。



## KGU FIGHTERS

### ラグビー部

人間共生学部 コミュニケーション学科 1年  
ティポアイルーテル ラリー さん



## 次世代のラグビー部を引っ張っていく存在

ラグビー部では初の留学生となるラリー選手。「大学選手権の決勝に10年連続で進出し、そのうち6回優勝したことのある凄い歴史を持つ関東学院大学。そのラグビー部でプレーしたい」という思いで入部した。現在では「学年の壁を感じないほど仲が良く、みんなでラグビーをしている時間が楽しい」とラグビーを謳歌している。今年度の目標は大学選手権出場。そのためには関東大学リーグ戦で3位内に入賞する必要があった。結果は奮闘したが0勝7敗で入れ替え戦にもつれ込んだ。相手は3年前に関東学院が1部に舞い戻った時のライバル校、拓殖大学だった。結果は惜しくも17-26で敗北し、2部降格が決定したが、ラリー選手はタックルで倒れた相手からボールを奪うジャッカルなどアクティブな動きができたという。「試合中は気が付かなかったが、動画で見返したら違う自分が映っていた」と自分の成長を感じた試合だった。「関東大学リーグ戦が終わった後も常に頭の片隅には入れ替え戦の17-26の数字を置いていた。そのことを忘れずに1部リーグ復帰を目指す」と休みの日やオフ期間も練習に費やした。「来年度は1部昇格。そして強かったあの頃のラグビー部を復活させたい」とラリー選手は次世代のラグビー部を引っ張っていく存在になるだろう。

### 未来へGOAL

#### ラグビー日本代表選手になること

7人兄弟で3人の兄が違う国でラグビーをしています。みんなプロになって活躍しているので、早く追いつきたいです。いつか日本代表になって兄と戦いたいですね。



## KGU FIGHTERS

### バスケットボール部

人間共生学部 コミュニケーション学科 1年  
モーヌ チソン フランクリン さん



## 良いケミストリーでチームとともに成長したい

リバウンドからのポイントが得意なナイジェリア人留学生フランクリン選手。高校の先輩から紹介されて、本学のバスケットボール部に入部した。「みんな明るく優しいので、すぐに馴染むことができた。バスケット以外に授業のことでも助けてもらっている」と部員の仲の良さが垣間見えた。5~6月にかけて行われた新人戦では199cmの体格を活かしたダンクシュートなど大きくチームに貢献し、第1回戦・第2回戦ともに勝ち上がることができた。準々決勝の大東文化大学との一戦は第3クォーターまで大東文化大学にリードは許してしまっただけで、フランクリン選手は「頑張れ」「右からスクリーンが来る」など声を掛け、チーム全体でコミュニケーションを図り活気づけた。第4クォーター開始早々、フランクリン選手が3Pシュートを決めて勢いをつけたが、57-69とあと一歩のところまで勝利を逃した。「コミュニケーションをチームと取ることに気をつけてプレーをした。今後は良いケミストリー※ができるようにチームと共に成長していきたい」と話す。2023年の目標はケガをしないうこと。「試合に出て、チームとともに戦いたい。まずはケガをせず、体調管理に気を付けて万全の体調で試合に挑みたい」と来季に向けて意気込みを語った。※「試合でのチームのパフォーマンスを向上させる要素」というスポーツ用語。

### 未来へGOAL

#### プロのバスケットボール選手になって活躍したい

実は小さい頃はサッカー選手になりたかったんです(笑)。でも、この身長を活かせるスポーツがないかなと思い、バスケットボールを始めました。チームで1つのボールをつないでいくところが面白く、いつかプロになりたいと思います。





初心者さんでも入部しやすい!

# 大学から始める部活動

## 放送研究部

唯一無二の映像作品を仲間とともに完成させよう!



### —どんな作品でも大丈夫!自由がモットーの部活です

金子さん/基本は映像制作をしていて、企画から撮影、編集など作品作りのためには何でもやる部活だよ(笑)。映像作品ができたら、他大学の人を呼んだ発表会や平湯祭で作品を公開することが主な活動だね。

越田さん/知り合いの方に役者を頼む人もいたりして自由ですよ。

金子さん/そういえば、うちの盛り上がるイベントってなんだろう?

越田さん/1年生コンペじゃないですか?優勝者には来年度の後援会費の約10%を自由に使える権利がもらえるので気合入りますよね。

金子さん/あ〜そうだった!誰が優勝するのか楽しみだね。

### —入部してから自分のやりたいことを探してもOK

金子さん/写真やカメラに興味があったから入部した。基本、初心者が多く入部の理由も様々。ラジオが好きや出演者になりたいという人も。

越田さん/僕は理由やばいですよ(笑)。たまたま勧誘されて入部した感じです。でも、だんだんと動画を作る面白さや自分の興味があることを形にすることに魅了されましたね。

金子さん/入部して最初の創造祭で作った作品がきっかけかな?

越田さん/そうですね。創造祭で先輩の映像作品を手伝った時、映像制作って面白い!って思いました。

### —映像が好き!って人にはたまらない!

金子さん/うちの魅力はプロの機材を使用して、映像制作できる環境があることがいいよね。

越田さん/部活が創立して55年も経つので、機材が豊富ですね。あといろいろなタイプの人がいるから友達を作りやすいかも。

金子さん/ラジオに興味がある人や、台本作成、企画・編集してみたいなど動機は様々だけど、共通して言えるのは映像が好きってことかな。

越田さん/衣装とかヘアメイクとか好きな人がいたら、さらに面白いかも!

金子さん/音楽を作る人もいたらいいね!映像を作る時は裏方で頑張っている人が多いので、自分の興味があることが見つかると思う。ぜひ興味があったら入部してみてください。

映像制作の裏方に興味がある方は誰でもウェルカム!

撮影講座や編集合宿があるので初心者の方でも安心!



理工学部 理工学科 2年 越田 慎さん

理工学部 理工学科 3年 金子 元彌さん

こんな方に向いています!

自分の世界観にこだわりを持っている

好きなことに没頭できる

友達と一緒に作品を作りたい

新しいことに挑戦したい

テレビ番組・映画ドラマが好き



## 天文部 すばる

自分の目で天体の魅力を感じてほしい!



### —天体イベントや天体観測会を開いています

芝さん/満月や流星群の天体イベントがある時にみんなで観測しに行ったね。あと、地域の方との天体観測会もやったなあ。

尹さん/地域の方との天体観測ではどんなことをしたのですか?

芝さん/月食と一緒に見て、望遠鏡の使い方を教えたりして交流したよ。分からないこともあるけど、イベントには顧問の先生が同行してくれるよ。

尹さん/そうなんですか。先生は宇宙物理学を研究している先生ですので、部活中もいろいろ質問ができるので自分が知らないことを知れて楽しいです。

### —いつでも参加できるアットホームな雰囲気!

尹さん/星など未知への好奇心が強く、天文学に興味がありました。平湯祭の時に芝部長と話して、自由な活動内容に惹かれて入部を決めました。

芝さん/天体イベントなどの活動は強制ではないので、自分のライフバランスと調節できるのがいいよね。

尹さん/学業とうまくバランスがとりやすいのはいいなと思いました。

芝さん/実は私も入部したのは2年生の11月頃。何か部活に入りたいなと思っていた時に天文部をみつけて、自由に参加できる雰囲気に惹かれたな。天体イベントは天候に左右されるから、開催できなかったり不定期になるけど、「いつでも自由に参加していいよ」というアットホームな雰囲気がいいよね。

### —実際に自分の目で見た天体に一目奪われました

芝さん/実際に月を望遠鏡で見た時は感動したな。写真よりも自分の目で見た天体のほうがきれいだと知った時は衝撃だった!

尹さん/わかります!僕は木星が好きなんですけど、動画で見た木星とは全然違うなと感じました。

芝さん/外に出ることが好き、写真を撮るのが好き、夜が好きとかいろいろな入部理由の部員がいるので、少しでも天体の魅力を感じてもらえたらと思う。まずは来年から知識を深める会とか開催できたらいいな。

尹さん/それは僕も楽しみです。

自分の興味があることと天文学を結び付けられたら楽しいと思う!



2022年の冬に入部しました!途中入部する部員も多いです。

国際文化学部 比較文化学科 3年 芝 恭加さん

理工学部 理工学科 1年 尹 東陽さん

こんな方に向いています!

自由に活動したい

イベントが好きな人

星が好きな人

夜が好きな人

アウトドア派で写真が好きな人



## ラクロス部

ラクロスを通して、青春を謳歌しよう！



### —先輩後輩の距離が近く、プライベートでも仲良しです！

野原さん／男子ラクロスは陽気な人が多く、和気あいあいとしながらもみんな試合に勝ちたいという気持ちがあるので真剣に練習しているね。  
高橋さん／上下関係は正直めちゃくちゃ緩いですよね(笑)。  
野原さん／そういう雰囲気だからプレー中もお互いに意見を言いやすいよね。  
高橋さん／大学から始める人が多いから、みんな同じスタートラインなんですよ。教え合うことでより成長できるなと感じます。  
野原さん／僕は2年生から始めたから圧倒的に知識が足りなくて、もっと早くラクロスに出会ってればと後悔してるよ(笑)。  
山近さん／女子ラクロス部はファミリーという4年生から1年生をミックスしたグループを作ってみんなでご飯食べたり、遊びに行ったりして仲良くなれるように工夫してるよ。学年関係なく仲がいいよね。  
勝木さん／1つのファミリーは3~5人と少人数なので仲良くなりやすいですね。

### —みんな大学からスタートするので始めやすい

勝木さん／私は高校生の時に陸上部だったのですが、何か大学で新しいスポーツを始めたいと思ったのがきっかけで入部しました。  
山近さん／女子ラクロス部はみんな初心者だから、何か挑戦したいって人にはおすすめのスポーツだね。  
野原さん／ラクロスって、高校にラクロス部がないことが多いから、大学から始める人がほとんどなんだよね。スタートラインはみんな同じなので始めやすいスポーツだと思うな。  
勝木さん／そうなんです！先輩が1対1で教えてくれるので、経験のない私でも楽しく困難を乗り越えられましたね。  
山近さん／高校の時は吹奏楽部だった部員もいるけど、プレイヤーとして活躍しているよ！経験がなくても、頑張ればその分上手になれるね！  
高橋さん／そうですね。その中で何か自分の強みを見つけれたら、活躍できる場が必ずあると思います。

### —正解がないことがラクロスの魅力

勝木さん／ラクロスの魅力って正解がないところだと思います。みんなで模索しながら戦術を考え、同じ目標に向かって頑張るところが魅力ですね。  
高橋さん／経験者でさえも分からないことが多いスポーツだからこそ、みんなで考えた戦術が試合で活かされたときは気持ちいいですね！  
山近さん／その通りだと思う！みんなで色々な壁を乗り越えて、絆が深まって…その1つ1つの経験が自分の財産になっているかな。



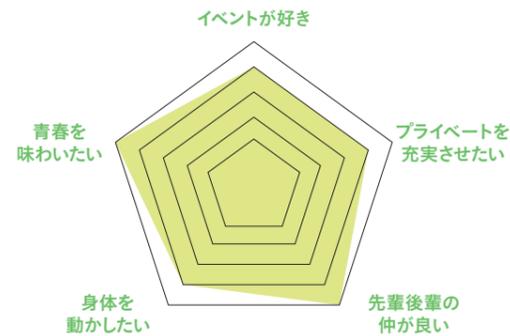
自分の長所を一緒に見つけて、ラクロスの舞台上で活躍しよう！

▼男子ラクロス部  
左:理工学部 理工学科 4年 野原 直樹 さん  
右:法学部 地域創生学科 3年 高橋 駿 さん

みんなでラクロスをした時間が私の青春です！

▼女子ラクロス部  
左:社会学部 現代社会学科 3年 勝木 朋花 さん  
右:教育学部 子ども発達学科 4年 山近 美沙紀 さん

こんな方に向いています！



## 合気道部

自分のペースで技を磨き、優劣を競わない武道



### —初段に上がり黒帯になることが目標です

古川さん／勝敗がないところが合気道の特徴だね。自分から攻撃はせず、相手の力を利用する武道。自分のペースで技を磨いていくね。  
金野さん／わかります！技のテクニカルな部分に惹かれますね。あと、初段になると帯が黒くなり、袴になるところがかっこいいですね。  
古川さん／1年生は五級から順に受けて、最終目標は初段になること。女子は最初から袴だね。  
金野さん／そうですね。僕も早く初段に上がって袴が着たいです。  
古川さん／僕は次の昇格審査で初段を受けるので、楽しみだな。  
金野さん／いいですね！地道に頑張って技を覚えれば初段に上がれるっていうのは1年の僕にも希望がありますね。頑張ります！！

### —部員の9割が初心者です！

古川さん／武道に興味があり、大学から始められる武道って考えた時に浮かんだのが合気道でした。  
金野さん／うちは9割が初心者ですよ。僕は漫画で合気道というスポーツを知って、攻撃するのではなく、相手の力を利用する護身術っていうのが格好いなと思いましたね。  
古川さん／相手を傷つけるために戦うわけではないからね。  
金野さん／そうですね。それで合気道部に見学に行ったら、先輩たちも凄く優しく、楽しそうだなと思って入部しました。

### —男性も女性もだれでも楽しめる武道

古川さん／体格とかも関係なく、相手の力を利用するから女性でもできるね。うちは女子3名と少ないけど、大会には女子もたくさんいるよね。あと、身体が軟らかい人に向いていると思う。  
金野さん／軟らかいと受け身を取りやすいですよ。僕は体が硬かったのが最初は大変でした。でも、練習して受け身がうまく決まった時は最高ですね。  
古川さん／僕は技をかけるほうが好きだな。自分の思い描いた形で技が決まった時は気持ちいいね！  
金野さん／わあ～それもいいですね！受ける側も技をかける側もどっちもやりがいがありますね。

先輩たちはフレンドリーで休みの日に遊びに行くこともあります！

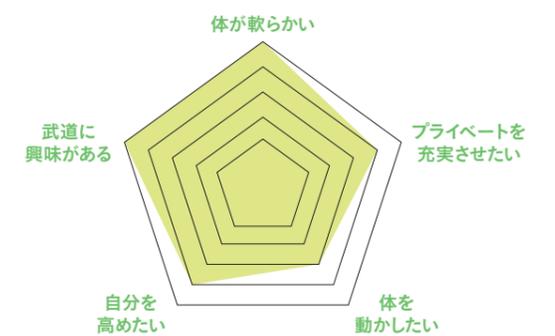
地道に努力すれば3年の春には初段が取れます！



経済学部 経済学科 1年 金野 裕次郎 さん

経済学部 経済学科 3年 古川 洋 さん

こんな方に向いています！



# 関内キャンパス特集

YOKOHAMA KANNAI CAMPUS



## 施設紹介



ラーニングcommons



テンナー記念ホール



クライミング



フォレストテラス



ステップホール

## 関内に 新しくキャンパスが開校しました

社会とつながるキャンパスとして2023年4月より開校しました。  
学生だけでなく企業・自治体・市民と連携した多彩な教育プログラムを通じて、「社会連携教育」の拠点となるような学びを展開していきます。

法学部

経営学部

人間共生学部(コミュニケーション学科)

※2023年4月 金沢八景キャンパスから移転

### Guide

人間共生学部  
コミュニケーション学科 3年  
山口 千奈さん

KGUcollectionの  
グランプリ受賞者の  
山口千奈さんが  
ガイドしてくれました。



太めのモチモチした麺が  
ソースとの相性抜群です!

### おすすめメニュー

#### 牛肉とキノコの自家製ミートソースパスタ

たっぷりのキノコと牛肉を丁寧に炒めたミートソースは  
しっかりとしたボリューム感。唐辛子とルッコラのピリッ  
とした辛味がアクセントの大人のミートソースです。



太めのモチモチした麺が  
ソースとの相性抜群です!

#### マルゲリータ

〜トマトソースとモッツアレラチーズ〜

自家製のピザ生地にトマトソースとモッ  
ツアレラチーズ、バジルをトッピング! 友達  
とシェアして食べるのにぴったりです。

#### キッシュプレート

時間帯を選ばず、小腹が空いた時におすす  
め! キッシュは季節の野菜とベーコンをふ  
わふわの生地と一緒に焼き上げています。

#### 旬のフルーツタルト

旬のフルーツとカスタード  
クリーム、タルト生地はグ  
ルテンフリーで体にやさし  
いデザートです。紅茶と一  
緒に優雅なティータイム  
を味わえます♪

授業がなくても通いたく  
なるほど居心地がいい♪







# わたしたちの 第73回 平潟祭

10月29日、30日と2日間にわたり、平潟祭が開催されました。

開催の様子とともに実行委員の方とKGUcollectionグランプリ受賞者の3名にインタビューしました。



## HIRAKATA FESTIVAL 2022

### 実行委員会

## 平潟祭に関わる全ての人と同じ思いを紡ぐ テーマは「紡ぐ」

今年のテーマは「紡ぐ」。テーマには“平潟祭としての歴史を紡ぐ”こと、そして学生はもちろん地域の方や平潟祭に関わる全ての方と“同じ時間を共有し、思いを紡ぎたい”という2つの想いを込めた。

昨年と大きく変わったことが2つあり、1つは学外からも参加できるようになったこと。学外からは2日間で1000名の事前予約制としたが、予約がすぐに埋まるほどの大盛況だった。来場者を迎える開催だからこそ、各種イベントの参加人数の制限や感染症対策などいろいろ苦労はあったが、平潟祭実行委員の協力もあり乗り越えることができた。そして、もう1つは飲食店が出せること。「2年前から飲食店はコロナウイルスの影響で開催できてなかったの、開催ができてよかった」と実行委員長・猪野さんは振り返る。少しずつ、コロナ前に戻りつつある平潟祭。来年はどんな平潟祭になるのか今から楽しみだ。



### 不安もあったけど頑張ってたよかったです！

#### Q.大変だったことは？

飲食店を出店するにあたり、感染症対策についてまとめた資料を提出しなければなりませんが、実例収集や資料作りが今までに経験がなくて大変でしたね。そのおかげで資料作りは上手くなったかも(笑)。

#### Q.思い出に残っていることは？

平潟祭の活動は1年にわたりますが、開催がたった2日間。そのため、このやり方でいいか不安に思うことや目標を見失うことも…。ですが、当日は地元の新潟から友人や家族も来てくれて、「良かったよ」「楽しかったよ」と嬉しい声をかけてもらい、頑張ってきたよかったですねと思いました。



経営学部 経営学科 3年  
第73回平潟祭実行委員長  
猪野 翔太 さん

### 来年に向けて良い関係を築いていきたい

#### Q.平潟祭実行委員会の雰囲気は？

今まで、部活動など上下関係のある環境にいたことがなかったので不安でしたが、平潟祭実行委員会はみんな優しく良い人ばかりで安心しました。人付き合いに苦手意識があったのですが、そういう考えがなくなり、平潟祭実行委員の皆さんのおかげで楽しく活動ができています。

#### Q.次期実行委員長として意気込みを！

まずは実行委員会の人と人の仲を深めたいと思います。何をやるにも信頼関係が必要だと思うので、学年関係なく親睦を深められるようにレクリエーションなど仲良くなるきっかけづくりができればいいと思います。



理工学部 理工学科 2年  
第74回平潟祭実行委員長  
長谷川 隼人 さん

### KGU collection

## 性別の垣根を超えたグランプリ

平潟祭のメインイベントの1つ“ミスコン”が2022年から「KGUcollection」と名前を変えジェンダーレスな大会に生まれ変わった。男女問わず参加できることから、参加人数も前年の約2倍に。また、2022年からグランプリ、準グランプリ、3位に加え、特別審査員賞、当日投票賞、Instagram賞が設けられた。受賞チャンスが増えたことにより、より多くの人々が活躍できる大会となった。

ファイナルステージには6名が選ばれた。1日目は「ハロウィン」をテーマとしたファッションショーと特技披露があり、候補者は自分の魅力をアピールした。そして、2日目の結果発表で見事グランプリに輝いたのは山口千奈さん。Instagram賞も受賞し、「たくさんの人が支えてくれたおかげです」と喜びをかみしめた。



### みんなのメッセージに支えられました！

#### Q.成長できたと思うことは？

人前に立つことができるようになったことです。以前までは緊張してしまい、人前に立つことが苦手でしたが、Instagramでたくさんの人に写真を見てもらったり、大会で人前に立つ経験をさせてもらったことで苦手意識がなくなりました。

#### Q.楽しかったことは？

Instagramを投稿するのが楽しかったですね。KGUcollectionが始まってから毎日更新をしていました。続けてこれたのは皆さんからの温かいメッセージがあったからだと思います。なかなかこういう機会はないので、参加して良かったなと思います。



人間共生学部  
コミュニケーション学科 3年  
山口 千奈 さん

# KANTO GAKUIN REAL SNAP 2022

突撃取材だから、  
ホンのリアルスナップ！  
①2022年で頑張ったこと  
②2023年で頑張りたいこと  
を聞いてみました。

① オープンキャンパススタッフ・就活  
② 国家資格の勉強・YouTubeに挑戦してみたい



宇佐美 大輔さん  
理工学部 理工学科 4年

① 大学に入って初めての期末テスト  
② 資格の取得



林 月花さん  
経営学部 経営学科 1年

① 設計  
② 就職・論文



飯濱 由樹さん  
建築・環境学部 建築・環境学科 4年

① 部活動  
② 勉強



中野 光さん  
建築・環境学部 建築・環境学科 2年

① 課題をこなすこと  
② 成績をもっと上げたい！



石井 美虹さん  
教育学部 子ども発達学科 1年

① つり  
② バイトを飛ばないようにする！



岩波 遥さん  
経済学部 経済学科 1年

① 早寝早起き朝ごはん  
② 一人で大学に行く！



月岡 琉空さん  
経済学部 経済学科 1年

① 生きること  
② 煮込み料理



太田 晃陽さん  
教育学部 子ども発達学科 4年

① アルバイト  
② 勉強



石川 紅葉さん  
教育学部 子ども発達学科 1年

① アルバイト  
② 卒業研究



田中 里城さん  
建築・環境学部 建築・環境学科 3年

① ゼミ  
② 就職活動



桔川 元希さん  
法学部 地域創生学科 3年

① サークル活動  
② 卒業



栗田 豊さん  
経営学部 経営学科 3年

① 神奈川県教員採用試験  
② 小学校教員



種田 龍弥さん  
教育学部 子ども発達学科 4年

① 勉強  
② 勉強



永井 隼人さん  
理工学部 理工学科 2年

① ダンスと課題とアルバイト  
② ダンスと課題とアルバイト



高山 碧唯さん  
建築・環境学部 建築・環境学科 2年

① 勉強  
② 検定を取る



米倉 悠登さん  
経営学部 経営学科 1年

① 就活アドバイザー・オープンキャンパススタッフ  
② 新社会人！早く仕事を覚えられるよう頑張ります



宮重 綾奈さん  
国際文化学部 英語文化学科 4年

① サークル活動  
② 勉強・就職活動



林 優奈さん  
経営学部 経営学科 1年

① 基本的な勉強  
② 資格を取ること



船水 駿太郎さん  
建築・環境学部 建築・環境学科 2年

① 就職活動  
② 資格勉強



伊藤 雅人さん  
経営学部 経営学科 3年

① ゼミ長、頑張りましたー！  
② 就職活動頑張るぞー！



石井 鼓汰朗さん  
法学部 地域創生学科 3年

① 教員採用試験  
② 楽しいクラスを作ること！



伊東 功成さん  
人間共生学部 共生デザイン学科 2年

① ダンスバトル  
② ダンスバトルでもっと勝つ！！



寺澤 弘規さん  
理工学部 理工学科 2年

① 資格取得  
② 勉強



船水 駿太郎さん  
建築・環境学部 建築・環境学科 2年

① ピアノ  
② 遊び



遠藤 ひかるさん  
教育学部 子ども発達学科 2年

① アルバイト  
② 卒業研究



長谷川 俊太郎さん  
建築・環境学部 建築・環境学科 3年

① ピアノ  
② アルバイト・実習



岡本 倫花さん  
教育学部 子ども発達学科 2年

① 幼稚園実習  
② 就職活動



杉渕 杏さん  
教育学部 子ども発達学科 3年

① 勉強  
② 勉強



森 碧海さん  
理工学部 理工学科 2年

① アルバイト  
② 友達作り



富木 孝輔さん  
教育学部 子ども発達学科 4年

① 教育実習  
② 教員生活



都築 健さん  
経済学部 経済学科 2年

① 人脈作り  
② 新卒1年目の一人暮らしで自炊頑張る



伊藤 沙樹さん  
教育学部 子ども発達学科 4年

① 教育採用試験  
② 仕事



西野 雷さん  
人間共生学部 コミュニケーション学科 4年

① アルバイト  
② 就職活動



新井 未悠さん  
人間共生学部 コミュニケーション学科 3年

① アルバイト  
② 自分磨き



齋藤 貴大さん  
建築・環境学部 建築・環境学科 3年



# チャレンジ奨学生

チャレンジ奨学金は学生による価値のある取り組みを応援する奨学金です。個人やチームでの自主的活動や社会貢献活動などの取り組みについて、高い効果が期待される場合に、その経費の一部を援助してくれるものです。「こんな活動を社会のために取り組みたい」とか「こういう研究を突き詰めて行いたい」など、学生の具体的な取り組みがあれば、応募することができます。

## Challenge 1

### 「こずみのANNEX」を考え、つくる会

チーム代表 工学研究科 建築学専攻 関 拓海

メンバー 18名 推薦者 酒谷 粹将(建築・環境学部 准教授)

横浜市金沢区では人口の減少や高齢化が進み、郊外の地域では空き家率も増加しています。地域を活性化させるためには独自の資源の発見と人々を惹きつける新しい魅力の創造が求められます。そこで、私たちのような建築やまちづくりを日々学ぶ学生が実践的な場として、家づくりから活用までを地域の方々と一緒に取り組み、地域の人々とつながれる多世代交流拠点「こずみのANNEX」を作ることになりました。

金沢文庫駅から徒歩10分のところにある築約50年の空き家を学生や地域の人々とともにDIYやDIWOなどのリノベーションを通して、地域の方が“自分事”として捉えられるようワークショップを行いました。学生のシェアハウスでありながら、キッチンやリビング、庭といった共用部分を開放し、地域の人々ともシェアすることで誰もが居場所として利用できる地域活動の拠点へと生まれ変わりました。ゆくゆくはワークショップに加えカフェなどのイベントの開催や地域の小学生が宿題を行う寺子屋としての利用など、人々がいつでもつながれる居場所を目指しています。

#### 〈こずみのANNEXとは〉

地域の拠点として、よりわかりやすく親しんでもらえる呼び名になるよう、『こずみ(小泉=地域名)』を添えた名称に変更。「共に創る」をキーワードに、フレキシブルにカタチや使い方を変える施設として積み木をモチーフとしたロゴマークを作成しました。



#### 主な活動

##### ■こずみのANNEXをみんなで考えるワークショップ

ANNEXの使い方について話し合います。みんなの場所をより良い空間にするために意見を出し合います。



##### ■こずみのANNEXをみんなでつくるワークショップ

DIYを通して、みんなでANNEXをつくります。子どもから大人まで幅広い世代でつくりあげる世界に1つだけのコミュニティスペースを完成させます。



## Challenge 2

### 教職自主ゼミ双葉 次世代の教育

チーム代表 工学研究科 物質生命科学専攻 佐藤 匠

メンバー 16名 推薦者 友野 和哲(理工学部 准教授)

本チームは将来、教員を目指している学生で構成されています。現在の教育現場では対面授業とオンライン授業の双方のスキルが求められます。特に、通信機器の整備や授業の質にはまだ多くの問題があり、今後の教育現場では遠隔授業の実践的なスキルが必要になります。本学でもオンライン講義が取り入れられたので、利点と欠点を学生の視点で得ることができました。その経験を活かして、本チームでは動画で授業を配信するオンデマンド講義のスキル向上を目指します。YouTubeを用いて、授業動画や、理科の教員を目指す学生が多いことから実験動画の配信を考えています。作成した動画を利用して、学内においては、学部学科を超えた横断的な活動に発展していきたいと考えています。

また、金沢区を中心とした地域交流イベントにも積極的に参加しています。世代の垣根を超えた交流を通じて得たものを将来の教員生活に活かしていきたいです。地域交流イベントでの経験はYouTubeを通じてアウトプットするスキルも磨いていく予定です。

#### 〈次世代の教育とは〉

コロナウイルスの影響を受けて、対面授業からオンライン授業へのシフトが進んでいます。今後の学校現場では遠隔授業のスキルが求められます。遠隔授業のみならずオンデマンド授業に向けた機材の取り扱いや授業の進行について実践スキルを磨く必要があります。



#### 主な活動

##### ■教職オリエンテーション+履修相談会

自分たちの経験をもとに教職のオリエンテーションや履修相談会を開催しました。「様々な経験が大事だとわかった!」「頼れる上級生がいて安心!!」とお声をいただきました。



教職オリエンテーション



履修相談会

##### ■地域貢献

金沢文庫芸術祭の参加や工場体験ツアーの運営スタッフ、ビッグサイトで行われた「教育総合展」で教育分野の知識を高めるなど、活動の幅を広げています。



教育総合展



工場体験ツアー



金沢文庫芸術祭

# 学長賞 & 功労賞 発表!



## 学術賞

### ●学業成績優秀者表彰

国際文化学部 英語文化学科  
**足立 和穂**

国際文化学部 比較文化学科  
**稲毛 梨乃**

社会学部 現代社会学科  
**田口 京佳**

経済学部 経済学科  
**一倉 萌恵**

経営学部 経営学科  
**森 涼馬**

法学部 法学科  
**太田 陸斗**

法学部 地域創生学科  
**相馬 希咲**

理工学部 理工学科生命学系  
**酒井 美佳**

理工学部 理工学科数物化学系  
**西山 葵**

理工学部 理工学科化学学系  
**花谷 明信**

理工学部 理工学科機械学系  
**鈴木 春香**

理工学部 理工学科電気学系  
**新谷 洋斗**

理工学部 理工学科情報学系  
**河原 聖弥**

理工学部 理工学科土木学系  
**山本 紗也加**

建築・環境学部 建築・環境学科  
**矢崎 聖佳**

人間共生学部 コミュニケーション学科  
**堀越 真樹子**

人間共生学部 共生デザイン学科  
**太田 江梨香**

栄養学部 管理栄養学科  
**小黑 まなみ**

教育学部 こども発達学科  
**成瀬 彩花**

看護学部 看護学科  
**根岸 亮太**

### ●研究活動優秀者表彰

理工学部 理工学科機械学系  
**佐藤 優衣**

理工学部 理工学科機械学系  
**鈴木 春香**

## 精勤賞

### ●体育系課外活動優秀個人表彰

#### 剣道部

国際文化学部 英語文化学科4年  
**江口 琉花**

●第15回 全日本学生剣道オープン大会  
女子三段以上の部 優勝

#### ウインドサーフィン部

人間共生学部 コミュニケーション学科4年  
**神尾 瑠夏**

●TECHNO293クラス 全日本選手権2022 準優勝

### ●文化系課外活動優秀者表彰

#### 学外活動

国際文化学部 比較文化学科4年

#### 中山 友里

●【2022年度】  
MOS(マイクロソフト オフィス スペシャリスト)  
世界学生大会 2022 ワード部門  
日本代表選考 優秀者

【2021年度】  
MOS(マイクロソフト オフィス スペシャリスト)  
世界学生大会 2021 エクセル部門 日本代表選考 入賞  
世界学生大会 2021 パワーポイント部門 日本代表選考 入賞



## 団体表彰

### ●体育系課外活動優秀団体表彰

#### 剣道部(男子)

●第56回全日本基督教関係大学剣道大会 団体戦 3位  
第67回春季神奈川県学生剣道選手権大会 団体戦 優勝

#### 剣道部(女子)

●第67回秋季神奈川県学生剣道選手権大会 団体戦 優勝

## 個人表彰

### ●体育系課外活動優秀者表彰

#### カヌー部

法学部 法学科3年

#### 大橋 愛

●第58回全日本学生カヌースプリント選手権大会  
WK-1 200m 4位、WK-1 500m 6位

#### ハンドボール部

法学部 法学科3年

#### 野尻 雄偉

●2022年度関東学生ハンドボール連盟  
男子2部 春季・秋季リーグ戦 得点王

#### 剣道部

法学部 法学科3年

#### 平山 隆之介

●第56回全日本基督教関係大学剣道大会  
男子個人戦 優勝

社会学部 現代社会学科3年

#### 塩入 大陸

●第56回全日本基督教関係大学剣道大会  
男子個人戦 準優勝

### ●文化系課外活動優秀者表彰

#### 学外活動

社会学部 現代社会学科2年

#### 永田 麟太郎

●第51回全日本学生将棋十傑戦(学生王将戦)出場  
令和4年度 関東大学将棋連盟 秋季個人戦 4位

### ●研究活動優秀者表彰

経営学部 経営学科

#### 大塚 裕貴

経営学部 経営学科

#### 神田 萌

経営学部 経営学科

#### 弓本 あかり

学長賞は、学術賞(学業成績優秀者及び研究活動優秀者・団体)と

精勤賞(課外活動優秀者・団体及び社会活動功労者・団体)に分かれています。

学術賞の「学業成績優秀者」は人物・学業ともに優秀と認められた学生に対して贈られます。

また、学術賞の「研究活動優秀者・団体」と精勤賞は、研究活動や課外活動、社会活動(ボランティアなど)において、

本学の名誉を高揚したと認められる学生と団体が対象となります。

## 硬式野球部【ソフトボール大会】

### 大会に関わる人への感謝を改めて感じました

今回で11回目となる連盟主催のソフトボール大会では地域の小学生たちの試合をサポートする形で参加しました。開会式・閉会式など試合全般の補助やボールボーイ、お弁当の配布などのお手伝いをしました。小さい子どもたちが一生懸命に試合に臨んでいる姿を見て、運営に関われてよかったなと感じました。また、普段はプレーする側の選手が裏方の仕事をすることで、支えてくれる人のおかげで試合ができていくことへの気づきにもつながったと思います。運営の方やお客さん、OBなど応援してくれる方がいてこそ大会だと思うので、その気持ちを忘れずにチーム一丸となって今後の試合に臨みたいと思います。



経営学部 経営学科 3年  
木場 大夢 さん



# 地域貢献

意外なところでもKGU生が大活躍！学生の皆さんが部活やサークル、個人で取り組んでいる地域貢献の活動をピックアップ！

## 陸上競技部【走り方教室】

### 子どもたちの思いに応えた毎年恒例の人気イベントです

子どもたちに走る楽しさを知ってもらいたい、また速く走りたいと願う子どもの手助けをしたいという思いで参加しました。2012年より開催している「走り方教室」は地域の方にも好評で、毎年定員以上の応募が集まる人気イベントです。私は司会や受付など運営のサポートがメインでしたが、選手はコーチとともに「もも上げ」「手首の運動」など走り方の基本を子どもたちに教えていました。最後にみんなでミニゲームをして、大いに盛り上がりました。教室が終わった後に「楽しかった!」とみんな笑顔で終わることができてとてもやりがいを感じた1日でした。



経営学部 経営学科 1年  
岩本 萌花 さん

## チアダンス部 Fits【シニア向け体力測定】

### 明るさやパワーを感じてもらえる体力測定

健康維持を目的としたシニア世代の方向けの体力測定のお手伝いをさせていただきました。ストレッチ、柔軟体操や長座体前屈などの身体測定の記録をしました。みんなと話し合い、参加している方が楽しめるように明るく元気に盛り上げました。「ありがとう」や「もう一回やってもいい?」など楽しんで参加してもらえて嬉しかったです。今回は初めての地域貢献活動となりましたが、楽しく参加することができました。また機会があれば、チアダンスの明るさやパワーを活かしたいです。



栄養学部 管理栄養学科 3年  
小島 柚香 さん



## サッカー部【中学生指導】

### 成長していく姿を身近に感じた時が面白い!

NPO法人の活動の一環で「中学校サッカーのレベルを底上げする」という目的で中学生指導を行っています。基本は自分たちでその日の練習メニューを考えています。学生一人ひとり性格が違うので個々にあった教え方や言葉選びは難しいなと思いましたが、成長した姿を見るとやりがいを感じました。中学生指導に参加して約1年が経ちましたが、中学生の皆さんの技術力の向上に驚きましたし、成長していく過程を見られるので「教えることって面白いな」と思いました。身近に成長を感じられる機会はなかなかないので、ぜひ今後も続けてほしい活動です。



経営学部 経営学科 4年  
大友 千裕 さん

## サッカー部【地域貢献課】

### これからも地域の方から応援されるチームにしていきたいです

2022年の4月で4年目となる「地域貢献課」の活動では金沢八景周辺の地域清掃を実施しています。歩いて行ける1~2kmの範囲を1時間ほど清掃しています。清掃中はサッカー部のユニフォームを着ているので地域の方から「応援しているよ」と声をかけてもらうことや、「ありがとう」と差し入れをもらうこともありました。この活動を通して、サッカー部のことを知ってもらい地域の方から応援されるチームになれたらいいなと思います。今後も地域の方に頼ってもらえるように活動の幅を広げていきたいです。



人間共生学部  
コミュニケーション学科 4年  
赤坂 渓也 さん

## 写真部【大通り公園の展示】

### 自分たちの写真に自信ができました

関内の大通り公園にて、12月9日、10日の2日間で開催された夜の公園活用を考えるイベント「大通り公園に、よりみちしよう。」に出店しました。12月ということもあり、イベントのテーマはクリスマスでしたので、部内でテーマに沿った写真を10枚選定してポストカードと額縁に入れた写真を展示・販売しました。ポストカードは1日目にはほぼ完売してしまい、増刷をするほど大盛況でした。普段は写真を販売することはないので、自分たちで撮影した写真が売れたことが自信につながりました。



社会学部  
現代社会学科 2年  
鷺尾 開 さん



国際文化学部  
比較文化学科 2年  
潮田 恭也 さん



法学部  
法学科 1年  
井坪 祐樹 さん

# 地域貢献

## 美術部【湘鷹みんなの部屋の壁画制作】

### 普段とは違う道具で壁画アートに挑戦しました



人間共生学部  
共生デザイン学科 3年  
森 俊介 さん



「屋根の補修工事の際に足場を組むので、その足場を利用して壁に絵を描いてほしい」と依頼を受け、地域の方の交流の場である横須賀市の「湘鷹みんなの部屋」という施設の壁に巨大な絵を描がきました。施設の方と何度も打ち合わせをして、鷹のイラストや施設のロゴ、関東学院を連想させるオーリーブなどを入れた壁画にしました。足場を使ってハケで壁に絵を描く機会はなかなかないので貴重な経験になりました。制作中は地域の方に「何しているの?」と興味を持ってもらい嬉しかったです。今後は絵を描くだけでなく、切り絵などいろいろなことに挑戦していきたいです。

# 文化芸術

## Culture Art

様々な場所でKGU生が活躍しています!  
学部または個人で取り組んでいる課外活動をピックアップ!

## 国際文化学部英語文化学科 2つの「英語俳句コンテスト」

英語文化学科では、昨年度に引き続き「第2回英語俳句コンテスト」を開催し、6月1日から29日まで関東学院大学の全学部の学生から、英語俳句を募集しました。集まった198句の中から、8名の受賞者が選ばれ、7月28日に金沢文庫キャンパスで表彰式が行われました。最優秀賞を受賞したのは、英語文化学科4年生の控井蓮さんの次の作品です。



第2回英語俳句コンテストの様子

“Early summer rain  
From wet blue hydrangea  
A snail shows its face”

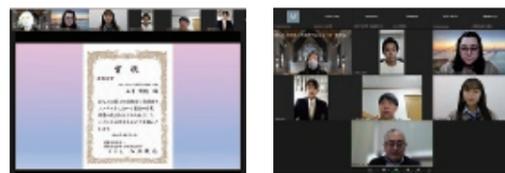
英語俳句の創作という知的、文化的活動を高校生にも広げていくため、今年度は新たな取り組みとして、「第1回高校生☆英語俳句コンテスト」を開催しました。オープンキャンパスでの英語俳句のワークショップでは、大学生部門での受賞経験者を含む学生たちがファシリテーターとして参加し、高校生の英語俳句創作のお手伝いをしました。コンテストでは、8月13日から10月14日まで英語俳句を募集し、その結果、北海道から沖縄県まで日本全国の高校生から445句もの作品が寄せられました。厳正な審査の結果、6名の受賞者が選ばれ、12月3日にオンラインで表彰式を行いました。

見事、最優秀賞を受賞したのは、千葉県 渋谷教育学園幕張高等学校 2年生の山下 実穂さんの次の作品です。

“One soft breeze  
Rippling the golden tides  
Of wheat field now ripe”



高校生☆英語俳句コンテスト



賞状

オンライン表彰式の様子

# 安否確認システム・学生生活課公式LINE・迷惑行為・SNS・危険ドラッグ・マルチ商法・飲酒・防災

## 安否確認システム スマホアプリ登録方法

本学では、地震等の災害時において、ANPICを用いて、学生・教職員の安否状況を迅速に把握します。

また、皆様の安否情報により、被害状況を把握し早期の対応を検討できます。そのため、皆様の安否報告が必要となります。

地震「全国で震度5強以上」が発生した際は、システムから自動的に安否確認のメールが送信されます。また、その他本学の判断のもと、メールを送信する場合があります。緊急時において、確実に安否確認メールが受信できるように、必ず手順に従い設定を行ってください。

### STEP①.初期登録設定

下記URLまたはQRコードより、関東学院大学ANPIC初期登録サイトにアクセスしてください。

<アクセス後の画面> <関東学院大学 ANPIC初期登録サイトURL>  
https://anpic-v-kanto-gakuin.jecc.jp/kanto-gakuin/regist

- ①ログインIDに「学籍番号」を入力し、「次へ」をタップ。
- ②KGUメールアドレスに、システムからメールが届くので、メールに記載されたURLにアクセスし、パスワード設定、新規メールアドレス登録を進めてください。
- ③パスワードの設定を行うと、再度KGUメールに確認内容と、本登録用のURLが送られますので、URLにアクセスしたら、本登録完了となります。

### STEP②.専用アプリのダウンロード・ログイン

「anpic」「アンピック」「あんびっく」のいずれかで検索して専用アプリをインストール、ログインしてください。

<初回起動後の画面> <関東学院大学 ANPICサイトURL>  
https://anpic-v-kanto-gakuin.jecc.jp/kanto-gakuin

ANPIC URL : 関東学院大学 ANPIC 登録サイトの URL を入力するか、  
○をタップし、QR コードの読み込み  
ログイン ID : 学籍番号  
パスワード : ステップ1で設定したパスワード  
ログインできれば完了となります。

STEP②以降の詳細マニュアルは、別紙「ANPIC利用マニュアル(詳細版)」をご覧ください。

## 迷惑行為 社会の一員として守るべき最低限のルール

自転車によるスピードの出しすぎや無灯火運転、歩行者の邪魔になる横隊歩行の苦情が近隣から寄せられています。また、車通学は禁止にも関わらず、近隣商業施設の駐車場に無断で長時間駐車をしている事例も報告されています。近隣住民の皆様迷惑をかけないように心掛けましょう。

## 飲酒 未成年の飲酒も、お酒の強要も絶対ダメ!

未成年者の飲酒は一歩間違えれば死に至ったり、脳や肝機能の障害、依存症の危険性があります。また、成人であっても一気飲みや過度な摂取は、急性アルコール中毒による死亡リスクがあります。

本学では万が一、未成年者の飲酒が発覚した場合には退学処分も検討しています。ルールを守り、楽しいお酒との付き合い方を考えましょう。



## 学生生活課公式LINE

学生生活課からの大切なお知らせを配信します。学生生活でお困りのこと、相談したいことがありましたら、まずはこのLINEをチェック!!

もちろんKGUポータルへ簡易アクセスできます★

LINEの「友だち追加」から「ID検索」または「QRコード」、「URLアクセス」で登録してください。

URL: https://lin.ee/8QjpDg5  
お問い合わせ先: 学生生活課



## 危険ドラッグ 薬物所持・使用はあなたも家族も社会も破壊させます

危険ドラッグは、覚せい剤や大麻などと同様、かなり強い依存性があり、一度使用してしまうと自分自身の意思に反して繰り返し使用してしまう大変恐ろしいものです。薬物による身体への影響は、意識障害やけいれん、最悪の場合は死に至るケースもあるのです。2014年に施行された法改正により、これら所持・使用・購入・譲り受けた場合、3年以下の懲役又は300万円以下の罰金又はこれらが併科されることは周知の事実です。

逮捕・退学だけではなくあまりにも大きな代償が待ち受けていることをしっかりと理解しましょう。

## SNS 安易な気持ちや間違った認識の投稿が人生を台無しに

近年ではSNSを活用してコミュニケーションを図るなど、生活に欠かせないツールとなっています。しかし、軽率な発言や行動をアップして、相手を傷つけたり、情報が悪用されて自身が犯罪者になってしまうケースもあります。トラブルに巻き込まれた場合は学生生活課、学生支援室にご相談ください。



## マルチ商法 うまい話に騙され負債を抱えることも

「儲け話がある」「良い商品がある」などをネタにしたマルチ商法が本学でも発生しています。近年目立つトラブルは、高額な学習教材を購入させる商法。「高額だけど結果として儲かるから」と学生ローンを複数組み、借金だけが残るパターンです。トラブルに巻き込まれたら、迷わず学生生活課または消費生活センターにご相談ください。

### 最近相談が寄せられた事例

- 携帯電話の名義貸し
- 日経先物取引売買学習教材の購入について
- ネットビジネスに関するセミナーへの参加
- 株式投資に関するセミナーへの参加など

## 防災 万が一に備えた防災活動で地域にも貢献

2014年に本学と横須賀市追浜地域運営協議会は、地域防災に関する協定を締結しました。追浜地域は学生寮や剣道部合宿所があり、入居する学生が大規模災害発生時に地域住民の救護活動や被災情報の伝達活動、避難所運営などで支援協力を行います。また、金沢消防署・消防団と本学のラグビー部・硬式野球部・陸上競技部は「消防応援に関する覚書」を2006年より締結しています。災害が発生した際に消防・救護協力ができるよう、毎年、初期消火・救急救命研修を実施しています。

まずは自分の身を守ることが大切ですが、誰かを助けなければいけない場面に遭遇した場合は学んだことを行動に移しましょう。